

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 617 号  
2012年 11月 1日  
発行

アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

第49回アスカ・セミナーは10月12・13日の両日三河湾国定公園吉良温泉の吉良観光ホテルで盛大に挙行された。12日午後、天野卓社長の歓迎の辞に始まり、日比野工業株式会社伊藤達一社長のセミナーを有意義に終了し、大懇親会で秋の夜長を楽しんだ。13日は吉良カントリークラブにおいてアスカ杯ゴルフコンペが催された。

## 第49回アスカセミナー

## 中国の最新（アルミ）事情

日比野工業株式会社

代表取締役社長 伊藤達一氏

### 日比野グループ

1945年、名古屋市熱田区（地下鉄日比野駅付近）で砂型アルミニウム合金鋳物業を創業。1960年ダイカストマシン導入、その後1964年に知立工場新設、金型・ダイカスト・機械加工の一貫生産体制を整備した。

更に、1974年西尾工場を新設してダイカスト部門を移転しマシンの大型化を推進した。

2000年、上海に上海日比野压铸有限公司を設立し、翌年11月にダイカスト鋳造がスタートした。これを受けて、機械加工部門の上海日比野金属制品有限公司が2007年に操業を開始した。

マーケットの拡大に対応、江蘇省常熟市に日比野铸件（常熟）有限公司を設立、ダイカスト、機械加工一貫工場の来年1月オープンを予定している。

日本での製品事例として、最新鋭の6連マニュアル（2012年2月から販売開始された、トヨタとスバルの共同開発により作られた86、BRZのもの）基幹パーツをダイカストしている。

月産1万台のうち、約6割近くの高いマニュアル車の比率で、現代の若者の車ばなれから考えると驚きの数字である。

この他、多くの自動車部品、電動工具部品、一般機械部品など多種多様の製品を手掛けている。

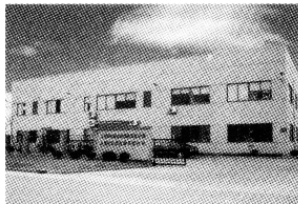
（下掲写真は中国進出の3拠点）

### 中国事情

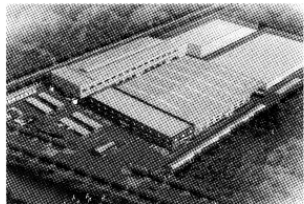
**国民性と地域性** 日本人と中国人は顔かたちが似ており、同じ文字を使う。しかし国民性に大きな差があるのは不思議。中国人は仕事に対して、



上海日比野压铸有限公司



上海日比野金属制品有限公司



日比野铸件（常熟）有限公司

- ・会社は自己利益の場
- ・知識は個人帰属（会社ではない）
- ・給与が同額なら、怠ける事が得
- ・会社（公）より、自分を優先
- ・部下を育てない、まとまりがない

このように考えられ、「社会」「帰属意識」に大きな落差がある。

一方、地域での文化（考え）の差の大きい点も注目したい。

**北京人：**愛国心が強い。お喋りが大好きで儲け話にあまり興味がない。興味があるのは政治の話と上海の悪口。大金には意欲を燃やすが小遣い稼ぎには興味を示さない。

**上海人：**お金持ちで栄えり張り。海外旅行と海外投資が好きで、ケチと言われ、お金に関して計算高い。北京人を田舎者と云って軽蔑。

**広東人：**言語、皮膚色、容貌、社会構造の違う種族が入りまじって、売国・節税・脱税の話が好き。

に大きく3分類できる。これは広大な国土と歴史・伝統の独立性のせいで言語も〈北京語〉〈上海語〉〈福建語〉〈広東語〉はそれぞれ独立圏を形成しており、お互いに会話ができない。

日本のような単一民族・単一言語の国とは異質であることに留意が必要と思う。

スピードの速さの事例 驚異的な施工期間の早さと工費の安さに注目したい。事例として

杭州湾跨大橋	瀬戸大橋
総工費：約1,500億円	1兆1,400億円
距離：36km	13km
施工期間：4年	10年
通行料：1,000円	1,900円

完工時期は2010年の上海国際博覧会にタイミングを合わせたものとみられる。この橋の完成により距離が400km→120kmとなり、通行時間は従来よりも半減し、輸送や観光に大きな役割を果たすものとみられる。

その他・地下鉄：全長460km（東京は304km）

・高速道路：全長85,000km（米国は10万km）

・新幹線：全長13,073km（世界一位の全長）

瀬戸大橋に比べ短期間で低コストでの完成に至ったが、昨年の新幹線／上海地下鉄事故発生の如く安全面確保の技術が追い付かないのが現状である。

#### 物価レベル情報

・電気代	7円/kw	(14円)	} ( )内日本 参考値
・天然ガス	50円/m <sup>3</sup>	(80円)	
・水道水	3円/m <sup>3</sup>	(250円)	
・ガソリン	90円/l	(145円)	
・タクシー	初乗り	175円（上海）、125円（蘇州）、63円（河南省）、地域差あり	



伊藤達一氏セミナー

- ・ホテル 上海3つ星クラス 9,000円程度
- 中国の件費 年率15~20%上昇し、ここ10年間で3倍以上に上昇した。上海郊外で平均的な数字では、
- ・守衛/雑務 2万円 ・部長 13万円
- ・一般作業者 3万円 ・副総経理 25万円
- ・課長 4万円

### 中国の成長

GDP 人口は2030年に14.6億人のピークに達し、それまで増加する。名目GDPは、2008年と2009年に成長鈍化したのが、依然8%超の成長率は維持している。IMFレポートに依れば、(カッコ内は予測値)

2000年 1.2兆ドル 2005年 2.3兆ドル  
2010年 (5.7兆ドル) 2015年 (10.0兆ドル)

と今後も高成長の維持が予測されている。但し、従来10%台の高成長率は困難(最近7.6%)。

1人当りGDP 2000年から10年間で3.9倍に増加、2009年には3,678ドルに達した。2008年に3,000ドルを越えたことに依り、自動車、家電など耐久消費財の消費が活発化した。

IMFの予測では、2010年に4,283ドル、2015年に2009年の2倍の7,606ドルに達する見通しで、購買力の一段の増大が期待される。

モータリゼーション 消費力の急増を反映して、自動車の生産台数は1999年から10年間で7.5倍になっており、2010年には1,826万台に達した。2006年から生産は急増、2006年にドイツを、2008年に米国を抜いて、2009年には急激な生産調整に見舞われた日本を抜き世界最大の自動車生産国となった。2015年には3,125万台という予想もある。

2012年の自動車販売は1,900万台レベルと見込まれ、昨年の1,850万台から微増にとどまる。しかし、中国交通運輸省は2020年までに保有台数は2億台を越え

ると予測している。現在の保有台数1.06億台から倍増に近い。

さらに、人口当りの保有台数の比較では、日本並みで8億台、米国並みで10億台と、途方もない数字に驚かされるが、大潜在需要として存在することは確か。

この急激な自動車の普及に伴い、排ガス問題、ガソリンの確保の問題、都市部での大渋滞などの諸問題に対して今後早急に対応、解決の必要がある。

### 今日の中国

日中関係の再構築 尖閣諸島問題で全国的なデモ、暴動が起きたが、今後このような排外運動が起きる可能性があるのか。胡錦濤から習近平への主席交替により親日から反日政策へ変るのか注目する必要がある。

又、経済成長と大卒就職難の悪化は若者の不平・不満を増大させる方向にある。インフレ抑制のための金融引締め、欧州向け輸出の落込み、公共投資抑制などに加え、人民元切り上げの外圧の問題があって、日中関係の再構築には不断の努力が必要だ。

華僑の底力 2000年以降の急激な発展の背景には華僑の存在を無視できない。台湾、シンガポール等近隣で大きな組織力を持ち、アジア圏で不抜の資金力、技術力、市場コントロール術を保有している。

この総合力によって、中国本土の不動産バブルや成長力の7%台への低下も、華僑ネットワークの存在は大きなバックアップの役を果たすものと考えられる。

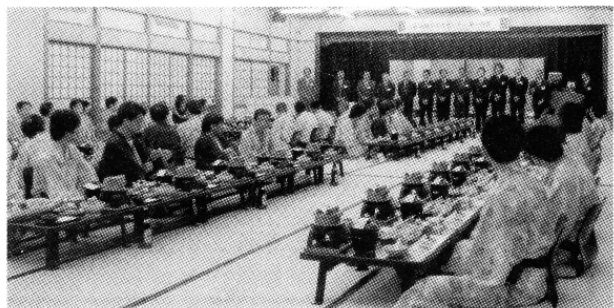
中国への期待 「21世紀の天才子役者」とは言い得て妙、実施した全てのモノゴトは上手く運んだが、決して大人ではない。

レアアース輸出制限、東シナ海領有台戦、今回の排日暴動を含めて決して大人ではない。世界と共存を目指す広い度量を期待したい。

(文責・松本浩弥)

## 懇親会 大盛會

セミナー閉会后、席を移して大懇親会を催した(写真・右)。天野卓社長の開宴の言葉につづきダイキャスト東和産業株式会社社長松尾精介氏の乾杯の音頭で開宴。大いに盛り上がり秋の夜長を楽しんだ。露天風呂の夜景も絶佳だった。



## 江南市から 見学団

10月1日、愛知県江南市から茶道クラブの皆さんが打揃って工場見学に来訪、資源リサイクルの実際を見学。このあと西の町のお茶畑と製茶工場を訪れた。写真は缶スクラップ前の皆さん。



## 社内情報

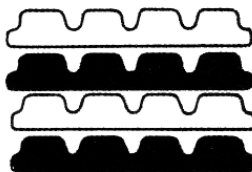
- ◎第49回アスカ・セミナーの開催に当り、日比野工業株式会社伊藤達一社長様にはご多忙のところ、快くご出講をいただき、おかげ様で盛大に、しかも大へん有意義にセミナーを終えることが出来ました。
- ◎受講の皆様と共に深くお礼を申し上げます。
- ◎翌日挙行の懇親ゴルフ・コンペの結果は  
優 勝 中川雄二氏 (碧海工機株式会社)  
準優勝 楠本敏久氏 (阪和興業株式会社)  
第3位 奥田清仁氏 (奥田工業株式会社)  
BB賞 吉田健志氏 (伊藤忠メタルズ株式会社)
- ◎皆様おめでとうございました。

## 編集後記

- 10月16日、西尾ロータリー・クラブ (会長・小田井博茂氏) は当社ホールで職場例会を開催しました。天野久会長が「ロータリー・ライフ36年を楽しむ」と題してスピーチをいたしました。
- 天野卓社長 (西尾ロータリー・クラブ幹事) の事業内容の説明のあと、工場見学会を行い、ロータリー・メンバー一同資源サイクルと環境保護の理解を大いに深めました。
- 第49回アスカ・セミナーには大勢様のご参加をいただき、厚くお礼を申し上げます。来年は第50回の記念行事を企画いたします。ご期待下さい。

## アルミ缶リサイクル 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

## アスカ工業株式会社

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>